平成29年度に取り組んだ主な事業

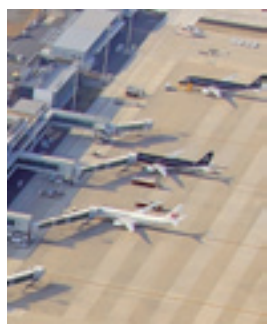
「待機児童対策」の推進、教育・保育の質の向上関連事業 … 286億2359万円

保育所整備費や小規模保育等の地域型保育施設整備費、認定こども園移行のための施設整備費などを助成して入所定員を増やし、待機児童対策を推進しました。また、運営費を助成するなどして、教育・保育の質の向上を図りました。

小倉城周辺整備関連事業…… 7億1711万円

本市を代表する観光資源である小倉城周辺の魅力向上や外国人観光客をはじめ、国内外からの観光客のさらなる誘客に向けた取り組みとして、天守閣の展示リニューアル、エリア内のライトアップ、城内の園路、子ども図書館等周辺施設の整備などを実施しました。

北九州空港将来ビジョン推進強化関連事業 … 6億6741万円



北九州空港における路線誘致や新規路線の集客・PR、既存定期路線の維持やさらなる拡充に取り組んだ結果、空港の利用客が過去最高となる年間164万人に達しました。また、空港へのアクセス手段であるエアポートバスの利便性の向上を図りました。さらに、航空貨物拠点化に向け、航空貨物の集貨促進や貨物便の誘致に取り組みました。

学校施設老朽化対策事業 …… 28億7259万円

学校施設の老朽化に対応して、既存の学校施設を安全で安心な状態で利用でき、教育環境を向上させるように、建築年度等に応じた改修計画を立て、大規模改修や外壁改修などを実施しました。

学力向上に向けた取り組み関連事業…10億1431万円

放課後などを活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」の対象校を拡充したほか、本市独自の学力調査である「北九州市学力状況調査」を学年及び教科を拡充して実施しました。

また、専科指導等を行う講師を拡充して配置するなど学力向上に向けた取り組みの充実を図りました。

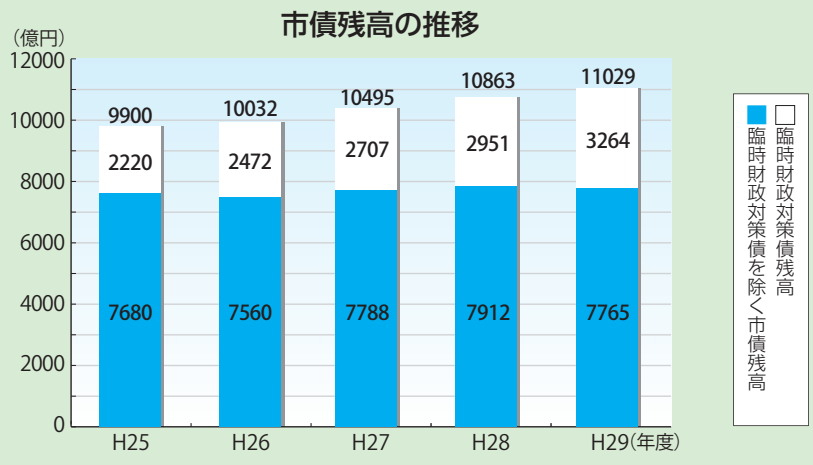
地域包括ケアの推進……24億3963万円

医療や介護が必要となっても住み慣れた地域で継続して生活できる「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、「医療」「介護」の在宅生活に向けた方向付けや、「介護予防」「住まい」「生活支援」の地域資源が創出される環境づくりを推進しました。

北九州市未来人材支援事業…… 2億4500万円

本市の産業を担う人材の確保と、市内企業への就職・定住を促進するため、新卒者等の奨学金返還を支援する「北九州市未来人材支援事業」を創設し、新卒予定者などへの周知・募集を行いました。また、「北九州市未来人材支援基金」を設置しました。

市債（市の借金）残高



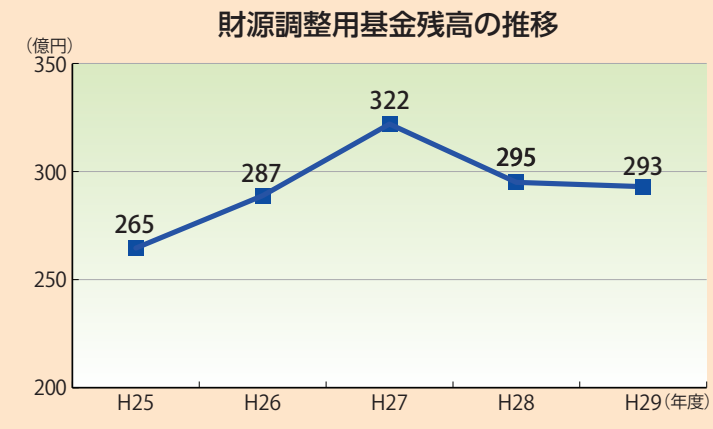
公共事業などのための市債残高は減少

地方交付税*の振り替えである臨時財政対策債*の増加により、全体の市債残高は増加していますが、臨時財政対策債を除く、公共事業などのための市債残高は7,765億円と前年度に比べ147億円（△1.9%）の減となりました。

＊地方交付税 全国の地方公共団体が一定の標準的な行政サービスを提供できるように、国がその財源を保障し、国税の一定割合を地方公共団体に配分するものです。

＊臨時財政対策債 地方交付税の財源不足対策として、本来地方交付税で交付されるものの一部を、市債として借り入れることが認められているものです。このため、その返済については、後年度、その全額が地方交付税で措置されます。

財源調整用基金（市の貯金）残高



市の貯金は前年度同水準を維持

平成29年度末における財源調整用基金*（市の貯金）残高は293億円で、前年度同水準を維持しています。

今後も、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などを着実に推進することで、歳入増につなげていくとともに、より一層事業の「選択と集中」を図りながら、持続可能で安定的な財政運営を行っていきます。

＊財源調整用基金 収支不足や緊急の支出に備えて積み立てている「市の貯金」です。